

平成 2 9 年 第 3 回 高 山 市 議 会 定 例 会

一 般 質 問

◎一般質問の順序

月 日	議 員 名	会 派 名	ページ
6月9日(金)	1. 谷村昭次 議員	創 政 ク ラ ブ	1
	2. 倉田博之 議員	創 政 ク ラ ブ	2
	3. 車戸明良 議員	創 政 ク ラ ブ	4
	4. 山腰恵一 議員	高 山 市 議 会 公 明 党	5
	5. 谷澤政司 議員	無 会 派	7
	6. 岩垣和彦 議員	無 会 派	8
6月12日(月)	1. 松山篤夫 議員	無 会 派	9
	2. 西田 稔 議員	無 会 派	10
	3. 上嶋希代子 議員	日 本 共 産 党 高 山 市 議 団	11
	4. 牛丸尋幸 議員	日 本 共 産 党 高 山 市 議 団	12
	5. 沼津光夫 議員	高 山 市 政 ク ラ ブ	13
6月13日(火)	1. 榎 隆司 議員	高 山 市 政 ク ラ ブ	14
	2. 今井武男 議員	高 山 市 政 ク ラ ブ	15

◎質問時間等については以下のとおりです。

議員の質問のみで40分。質問回数は制限なし。

※ 反問に要した質問及び答弁の時間は持ち時間に含めない。

◎一般質問の内容は次のとおり通告されています。

【谷 村 昭 次 議員】

1. 義務教育の機会確保の検証と将来展望について

- ①年間30日以上欠席する児童生徒に対する教育支援施策と具体的な取り組みに対する量と質の視点での、これまでの行動計画と実施状況での自己評価は
- ②教科学習教育を中心とする義務教育水準確保の維持向上への市域事情に熟慮する今後の具体的な対策は
- ③家庭にいる年間30日以上欠席する児童生徒への支援強化対策は
- ④多様で適切な学習活動の重要性や休養の必要性を踏まえた支援への体制整備の考えと展望は
- ⑤教育委員会・学校と民間団体などの連携による支援の枠組みの現状と今後は
- ⑥「出席扱い」にとどまらない教育機会の充実による将来の社会的自立に向けた方策への取り組みは

2. 「地域力」減退の見える化と減退対策について

- ①市が認識する各地域の地域力を減退をさせる要因を市はどのように認識しているか
- ②地域力の減退指標として、1 防災力、2 福祉力、3 資産形成力、4 交通需要対応力を構成要件として大別して捉える考えは
- ③特に資産形成力は家屋不動産では築年数だけでは計られない、適性の価値を創り出す力と考えるが、価値の向上への対応策や取り組みは
- ④空き家、未利用の古民家資産での売り手（貸し手）と買い手（借り手）の価値評価ギャップを縮める手法として、管理型信託を活用し資産流動化や転貸借化あるいは刷新改修（リノベーション）や回復修繕（リフォーム）による需給マッチングへの補充的な取り組みの考えは
- ⑤官民連携による地域力減退抑制策の一端として公共施設（土地を除く）の包括信託の考えは

【倉 田 博 之 議員】

1. 自殺予防対策について

- ① ところや気持ちの疾患による入通院が急増している。市民に対する「メンタルヘルス（精神の健康）」の取り組み状況は
- ② 行政各分野は「メンタルヘルス」の視点を持ちながら、所管の施策展開や通常業務を行うべき。その縦の施策と情報を横につなげてネットを構築するため、さらに綿密に効率的に連携を進める取り組みが必要ではないか。また行政内だけでなく、市民や産業界・各種団体の理解を、どうすればより深めることができ、全体としての連携が強まると考えるか
- ③ 医療機関以外の各分野の相談や支援においては、「メンタルヘルス」に関する正しい知識や適切な対応技術を準備できないまま制度だけが先行する傾向があるとの報告がある。当市は十分な体制が整えられているか。新たな知識や技術を得るための取り組みは十分に行われているか
- ④ 「メンタルヘルス」に関するビジョンや計画を示すことが、弱っている市民の心の支えにつながっていく効果を生むと考える。市の見解は
- ⑤ 「自殺の地域診断（平成21年～24年）」（NPO法人自殺対策支援センター ライフリンク）の報告にある当市の状況についての見解は。また、平成25年以降の当市の状況はどうであったか。その現状をどう捉え分析しているか
- ⑥ 効果的な自殺予防対策につなげるためには、市独自の調査や情報収集などを行いながら、わがまちや相談者の状況をより深く細かく把握し、しっかり分析して対応する取り組みが必要と考える。市の見解は
- ⑦ 改正自殺対策基本法に明記された「市町村自殺対策行動計画」の策定義務に、どう取り組んでいくのか

2. スポーツツーリズムの推進とその環境整備について

- ① スポーツを目的とした旅行についてのニーズは国内外ともに高い。スポーツツーリズムの有益性と将来性について市の見解は

- ②スポーツツーリズムの受け入れ環境として重要な要素であるスポーツ施設の現況と整備について市の見解は
- ③屋内体育施設についても、競技対応のみならず観客をもてなす発想からの整備が求められている。考え方の転換と、それに伴う施設改善の検討が必要ではないか
- ④本腰を入れてスポーツコンベンションに取り組むため、岐阜県ではなく市独自の「スポーツコミッション」が必要ではないか
- ⑤当市はスポーツに親しむ資源が豊富で住民の関心も高い。「スポーツに親しむまち」のイメージを高山市に持たせることは、スポーツツーリズムや市民の健康づくりにとって大変付加価値の高いことだと考える。市の見解は
- ⑥市域のゴルフ場やスキー場の多くが経営的に苦戦している。海外向けの旅行博やエージェントに、スキー・スノーボードやゴルフのパッケージメニューを積極的に提案していけないか。トップセールスの力を発揮できないか

【車 戸 明 良 議員】

1. 教育長の高山市の学校教育に関する考えについて

- ①教育への信条、大切にしてみえるものは
- ②学校現場における課題として考えられていることは
- ③新学習指導要領への対応は。小学校英語教育総合カリキュラムマネージャー設置の
取り組み状況と考えは
- ④新学習指導要領の先行実施への準備期間一年目にあたる今年度の小学校3・4年生
の授業の取り組みは。また授業時間の確保について文部科学省の示す内容は
- ⑤キッズウィーク（夏休みの一部を春や秋の平日に振り替え分散する）導入の考えは

2. 生物多様性について

- ①生物多様性への考えは。また市の現況と課題は
- ②「生物多様性のひだたかやま戦略」の理念、目標、基本政策と推進状況は
- ③生物多様性保全推進事業など各事業の成果は。国、県に関連した事業成果は
- ④今年度の事業展開は。国、県、教育委員会との関係事業は
- ⑤国、県の生物多様性戦略と連携する方向性と、今後の取り組みは

【山 腰 恵 一 議員】

1. 災害時における旅行者への対応について

- ①大規模災害時に旅行者を誰がどう誘導して安全な場所へ避難させるのか。旅行者への初動体制のシミュレーションをどう考えているか
- ②災害時応援協定を結んでいる宿泊施設等における備蓄品等の現状と課題は
- ③民間の事業者（企業・旅館・ホテル等）を一時滞在施設として協力を得て安全確保する必要があると考えるが
- ④道の駅に車中泊避難者用の非常電源装置や備蓄品（非常食・飲料水・災害用トイレ・テント・寝袋）などの備えが必要と考えるが
- ⑤大規模災害時にJR高山線や主要幹線道路、東海北陸自動車道などが機能しなくなる恐れがある。民間事業者との連携についてどう考えるか

2. 市営住宅について

- ①高齢等で連帯保証人の確保が困難な場合、市はどのように対応しているのか
- ②市営住宅条例の入居要件に「市長は特別な事情があると認めた者に連帯保証人の連署を必要としない」とある。どのような場合か
- ③高齢者に対応した施設のバリアフリー化が必要である。市の見解は
- ④高齢者世帯の入居割合が高く、自治会の奉仕活動が難しくなっている。若い世代や子育て世帯を増やすような誘導策の考えは

3. 障がい者サポーター制度について

- ①障がい者サポーター制度の導入ができないか

4. 持続可能な森林管理と活用について

- ①森林認証制度により認証された森林の現状は
- ②森林認証制度の積極的な普及の方向性は
- ③加工・流通過程で適正に管理されていることを証明する認証制度の推進を図ってはどうか
- ④川上から川下まで一体的な地域産認証材の活用を通じて森林施業の活性化が期待できると考えるが、市の見解は

【谷 澤 政 司 議員】

1. 荘川町の魅力あるまちづくりへの取り組みと経済活性化について

- ①国道156号の荘川町から白川村の区間において、岩瀬トンネル3か所と岩瀬橋は幅員が狭く老朽化していることから、安全対策が必要である。市が取り組んでいる県への要望状況は
- ②本年度の白山ユネスコエコパークの活用について、自然や歴史的文化を活かした経済活性化も含む取り組みは
- ③天然記念物・荘川桜を観光スポットとして将来の保存に向けた維持管理の現状及び課題と今後の取り組みは

2. 重要伝統的建造物群保存地区の選定について

- ①第八次総合計画に記載されている重要伝統的建造物群保存地区拡大の推進について、その進捗状況は
- ②下町地区の歴史的な高山別院を含む寺内景観保存地区など景観保存地区の格上げについて、国の選定に向けた目的達成の年度計画策定の考えは

3. ヘルプマーク導入による障がい者等への支援について

- ①今年度のヘルプマーク普及への県と市の取り組み状況は
- ②ヘルプマークを取り付けて来高される観光客等に対して、国際観光都市としておもてなしの心を高めて援助・配慮できるよう市民に周知する考えは

【岩 垣 和 彦 議員】

1. 国の法改正による地域への影響と市の対応について

- ①「主要農作物種子法（種子法）」が廃止されることで種籾価格の変動や遺伝子組み換えなどにより、ブランド化した地域農作物を守る取り組みや、食の安全を担保するための方策は
- ②「水道民営化法」の制定により市の水道事業について、P F I方式やコンセッション（公共施設等運営権）方式の導入など今後の方向性は
- ③共謀罪の創設を含む「組織犯罪処罰法」の改正により、各種団体や個人の言論の自由や表現の自由など基本的人権への影響を危惧する。今後、市が果たす役割と自由闊達な言論や表現に基づく様々な活動をどう担保するのか

2. 学校教育現場における課題について

- ①学校区の再編について、教育委員会として具体的に進める考えはあるのか
- ②岩滝小学校の統合について、現状と今後の進め方は
- ③部活動の運営は生徒数の減少で支障が出る場合もあり、生徒・保護者・指導者それぞれ課題を抱え負担も増大している。教育委員会としての現状の把握と今後の対応は

3. 地方公務員の待遇と責務について

- ①国において地方公務員の臨時・非常勤職員の任用の適正化・処遇改善に向けた地方公務員法改正への議論を踏まえ、市は臨時職員への手当や期末手当等を支給する考えは
- ②特別職が「特定の市民や団体に便宜を図る」ことなど「忖度」の範囲をどう考えるか。一方で、「全体の奉仕者」として公共の利益のために職務することについて、公平性・中立性・平等性をどう確保するのか

【松 山 篤 夫 議員】

1. 観光政策について

- ①観光の産業化には正の受益者と負の受益者が混在する。市はこの問題をどのように捉え、観光政策に反映させるのか
- ②宿泊税の導入に対する市の見解は
- ③市の描く「国際観光都市像」は
- ④政府の観光行動計画である「観光ビジョン実現プログラム2017」が策定され、自治体への支援策が打ち出されているが、市の活用策は
 - ・学芸員等に対する文化財を活用した観光振興に関する講座の新設など質の高い人材育成（学芸員の現状も含め）
 - ・農泊や古民家改修支援による歴史的な資源を活用した観光まちづくりの推進
 - ・エコツーリズム、ジオ・パーク等の山岳観光の推進等
- ⑤山城としても貴重な観光資源である県史跡広瀬城跡の国指定に向けた取り組み状況は

2. 晩婚化・未婚化対策について

- ①市の晩婚・生涯未婚率の現状は
- ②「ママファースト運動」の推進の考えは
- ③「ハローライフ」という結婚・出産・育児・親の介護等の相談体制の確立の考えは
- ④中学校での「ライフ・デザイン教育」の導入の考えは

【西 田 稔 議員】

1. 危険交差点の安全対策について

- ①山口町地内県道岩井高山停車場線と国道361号との交差点において事故が多発している。地元から信号機設置を要望されているが状況は

2. 小中学校屋内運動場の熱中症対策について

- ①（公財）日本体育協会が示した熱中症対策の指針は周知徹底されているか
- ②熱中症予防対策として温度指標が示されている。市の教育現場での対応状況は
- ③教員の危機意識が重要だが指導体制は

3. 感染症対策について

- ①デング熱の感染が市でも懸念されるが対策は
- ②ヒトスジシマカの発生防止について市民への周知は
- ③デング熱の発症が確認されたときの対応は

4. 混合介護について

- ①市における混合介護の状況は
- ②混合介護のメリット・デメリットは
- ③混合介護を推進する考えは

【上 嶋 希 代 子 議員】

1. 学校給食について

- ①学校給食費の無償化について市の考えは
- ②朝食を食べてこない子どもへの市の対応は

2. 介護保険制度について

- ①保険料の負担軽減について市の考えは
- ②介護サービス費用の負担が重い人への支援について市の考えは

3. 地域医療構想について

- ①地域医療構想を市はどのように捉えているか。また、市民への影響は
- ②介護療養病床の存続に対する市の考えは

【牛 丸 尋 幸 議員】

1. 市政の情報発信について

① 6月議会初日の市長による「諸般の報告」について、報告の内容を省略した理由は

2. マイナンバー（個人番号）制度について

①通知カード・個人番号カードの普及状況は

②市民税の特別徴収税額通知書の配付状況と、マイナンバーを記載した理由は

3. 学校運営について

①市長公約「一人ひとりを大事にする教育が行われるよう「35人学級」を達成させます」の取り組み状況は

②教員の多忙化解消の取り組み状況と、労働安全衛生法への対応は

③「教育勅語」への対応についての考えは

4. 入札制度について

①消防ポンプ自動車の入札結果に対する考え方は

【沼津光夫議員】

1. 五色ヶ原の森の整備と乗鞍観光の方向性について

- ①今年度五色ヶ原の森の3つ目のルートが整備されるが、それによる入山者の増加をどのように見込んでいるのか
- ②今年度から乗鞍スカイラインの一部早期開通が実施されるなど新たな試みも実施されているが、今後観光客増加への施策はどのように考えているのか
- ③乗鞍と五色ヶ原の森を結ぶ新たなルートを整備することで、双方の活性化につながると思われるが、そうした施策への考えは

2. 除雪の実施方法について

- ①今後の除雪体制をどのように考えているのか
- ②住宅密集地の除雪方法をどのように考えているのか
- ③維持工事と除雪路線との一体化での施工方法は考えられないのか

【榎 隆 司 議員】

1. 農地利用について

- ①休耕地等の現状と今後の対応策は
- ②平成30年産米から国の生産数量目標配分廃止による影響や対応は

2. 障がい者の外出サポートについて

- ①電動アシスト車椅子等の購入助成についての考えは
- ②スロープ車やリフト車に配慮した駐車スペース確保の考えは
- ③多目的トイレにおけるユニバーサルベッドのサイズの見直しと再整備の考えは
- ④障がい者用トイレマップを作成する考えは
- ⑤親が送迎しなければならない障がい児通級の受入体制について見直しをする考えは

3. 市民の健康維持について

- ①市民の健康促進のための取り組み状況は
- ②イオンカードとの連携による健康ポイント導入の考えは
- ③複合型健康増進プログラムとして「フレイル（虚弱）チェック」等あるが、市として導入する考えは

4. のらマイカー等の有効利用について

- ①のらマイカーの利用について乗り継ぎ等で不便を感じているが、運行路線等を見直す考えは
- ②小学生の声でまちなみバスのアナウンスをする考えは

【今 井 武 男 議員】

1. 潜在看護師の復職支援について

- ①資格を持っていながら現在は看護師として働いていない方の支援の経過は
- ②県が高山市に支援拠点を開設するとしていた現状と成果は

2. 保育士の人材確保について

- ①待機児童の解消に向けた保育人材の確保について、県や市の取り組み状況は

3. 運転免許証自主返納の取り組みについて

- ①運転免許証の自主返納促進事業の現状と成果は
- ②新たな支援制度の取り組み状況は

4. 飛騨山脈における火山対策について

- ①乗鞍岳などの火山ハザードマップ策定後の取り組み状況は